

第4回 令和3年度使用 中学校教科用図書審議会

日時：令和2年7月20日（月）

17時59分～19時05分

場所：文京シビックセンター20階

教育委員会室

文京区教育委員会

令和3年度使用中学校教科用図書審議会（第4回）会議録

日時：令和2年7月20日（月）17時59分～19時05分

場所：文京シビックセンター20階 教育委員会室

「出席」

委員長	小椋孝
委員	石原絵里子
委員	松田大悟
委員	吉江信貴
委員	鈴木洋子
委員	吉村達也
委員	宮入祥郎
委員	杉浦芳則
教育指導課長	松原修

「事務局」

統括指導主事	二ノ宮正信
指導主事	林修也
指導主事	子野日芳和
指導主事	室岡祐太

○ **担当** それでは、お時間が参りましたので、第4回審議会を始めさせていただきます。
初めに、資料の確認等をさせていただきます。

本日の資料は、前回配付させていただきました調査研究委員会のまとめの資料でございます。本日、改めて御準備させていただきました。よろしくお願いいたします。

本日の審議では、特別の教科 道徳、及び、理科について、審議をしていただく予定でございます。各教科の審議は、ここまでとなります。

それでは、早速、委員長に審議を進めていただきます。

よろしくお願いいたします。

○ **委員長** それでは、特別の教科 道徳について、調査研究委員会の報告をお願いします。

○ **担当** それでは、調査研究委員会の報告をさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

調査研究委員会の報告、主立ったところを、説明させていただきます。

初めに、東京書籍でございます。東京書籍、主立った点といたしましては、2番、各教材につぶやき等メモのできる欄があり、生徒が気がついたり考えたりしたことを記録できるようになっている。御覧いただきますと、教材に必ずつぶやきメモというものがございます。

続きまして、教育出版でございます。教育出版、2番でございます。生命の尊さや、いじめについて扱っている教材では、複数の教材がまとまってユニット化されていて、重層的に考えることができると報告を受けております。

続きまして、光村図書でございます。光村図書、2番でございます。各シーズンには、ユニット化された教材があり、互いに関連性の深い内容項目が結びつくよう構成されているとなっております。

続きまして、日本文教出版でございます。こちらは、3番、別冊の道徳ノートは、発問が記載されていないことで、どのような授業展開にも活用することができる。また、生徒は、学習の蓄積を確認することができ、自らの振り返りにも活用できる。

続きまして、学研教育みらいでございます。こちらは、4番でございます。脚注に登場人物や出来事についての詳しい説明があり、生徒の教材理解につなげることができる。

最後、あかつきでございます。2番でございます。こちらにも別冊がございます。別冊には、22の内容項目についての教材が掲載されており、各学校の状況に応じた適切な教材が選択できると報告がございます。

以上、調査研究委員会からの主立った点について、報告でございます。

○ **委員長** 今の報告の中で、これは使いやすいという報告はあるのですか。

○ **担当** はい。

まず、東京書籍については、つぶやきメモにつきましては、その都度メモできるというところで、使いやすいのではないかという報告もあります。

また、学研教育みらい等では、脚注に出来事についての説明が詳しくありますので、生徒が確認する、また、しやすいのではないかという報告もごございます。

そのほか、日本文教出版等におきましては、別冊ノートはごございますが、発問が記載されていないというところで、授業の中でもこちらの発問を先生方が考え、その都度、展開できるというところで、報告が上がっております。

以上でございます。

○ **委員長** ありがとうございます。

3社について、ちょっと補足の説明をしていただきました。

それでは、いろいろ道徳の教科書は特徴があるかと思しますので、お気づきになった点からお話しただけであればありがたいと思いますが、いかがでしょうか。

○ **委員** 今、報告の中で、東書にはつぶやきがあるということでしたけれども、学研にも同じようなメモというのは脚注にあるのですね。また、学研は、脚注のいろいろな説明もあるし、メモもあるという感じになるのかなと思いました。

○ **委員** 道徳ってなかなか記録を取るのが難しいので、こういう別冊がついていて、そこに書き込むことによって、自分の記録にもなるし、例えば、教員にとってもそういうものを見て、生徒はこういうふうを考えているという部分では資料にもなるので、そういう意味では、別冊がついているというのは2社ありますけれども便利かなと思いました。

○ **委員長** 別冊ですね。どこどこですか。

○ **委員** あかつきと、日本文教出版ですかね。

○ **委員長** あかつきと日文が別冊つきで、使いようによっては非常に活用ができるということでございます。

○ **委員** そう思いました。

○ **委員長** 取り上げた人物で、偉人の方とかあるのですけれども、今の子供たちでいうと、東京書籍が、萩野公介、佐藤真海、黒田博樹、野球ですね。野口聡一、宇宙飛行士。それから、小平奈緒と李相花、あの日韓の冬季オリンピックで肩を抱き合っていた2人ですね。あと、池上彰。

教育出版が、イチロー。萩野公介。瀬戸大也。瀬立モニカ、これは、パラのカヌー選手で、江東区出身で、高校時代にけがをしましてパラカヌーに行ったという方ですね。だから、親しみ深いかなとは思いますが。あと、藤井聡太、将棋ですね。

光村が、さかなクン、大野将平。

日文も、さかなクン。高橋陽一。それから、さだまさし。吉田沙保里。山中伸弥。

結構いろいろなものを取り上げているのですけれども、学研が一番多いですかね。イチロー。本橋麻里、カーリングのマリリンさんですね。高梨沙羅。長谷部誠。松井秀喜。山中伸弥。萩野公介。瀬戸大也。伊調馨。谷真海。面白いのは、東書は、佐藤真海さん、旧姓で扱っています。学研は、谷真海さんと結婚した後の名前で使っていますね。オリンピ

ックのスピーチをしたので有名な方ですね。

あかつきが、成田真由美。三浦知良。松井秀喜。

日本図書が、山中伸弥。長嶋茂雄。松井秀喜。ジャッキー・ロビンソン、野球。

だから、子供たちが知っているところだと、学研が非常に多いかなという気がしました。

あと、教科書のつくりだと、日本文教出版が、登場人物がここに出ているのですね。ぱらぱらとめくっていくと、何というのですかね、その人の、野口健さんとかが出ている。これは、子供らが読み物みたいな扱いで、うちで見て、関心を呼ぶには、このつくりは面白いなど。今、名前を挙げたような人たちが、ぱらぱらと見ると出てくるので、ほかのは中に出てくるのですけれども、有名人でも、僕たちでも、タイトルの下に出ているので、これは分かりやすいかなと思いました。

ちょっと登場人物とか、つくりで、お話をさせていただきました。以上です。

○ **委員** 登場人物だと、学研で嘉納治五郎さんが載っていて、文京区に関係があるのかなというところだと。

○ **委員** 日本教科書もありますよ。

○ **委員** その教科書にもあります。

○ **委員** 嘉納治五郎の記事が。

○ **委員長** 嘉納治五郎を取り上げているところは結構あるのですけれども、柔道家で取り上げているところとIOCで取り上げているところと、2つありますね。

事務局のほうで、その辺、文京区ゆかりというところではどうですか。

○ **担当** 日本文教出版で、柔道の井上康生選手が、2年生の教材で取り上げられております。

○ **担当** そのほか、日本教科書の中では、高村光太郎、小泉八雲等を取り上げられていると報告が上がっております。

○ **委員長** 嘉納治五郎は、学研と。

○ **担当** 学研と日本教科書です。

○ **委員長** 日本教科書。

○ **担当** はい。2社でございます。

○ **委員長** つくりで、何か縦横が交じっているのと全部縦があるのですけれども、東京書籍が目次以外は縦、あかつきと日本教科書も縦、あと、見開きのコラムや何かだから邪魔にはならないと思うのですけれども、横書きのやつがありますね。今の子供たちは慣れているから大丈夫かもしれませんが。

本文はみんな縦書きなのですね。

○ **委員** 全部の教科書を見比べてみたのですが、日本教科書だけ、すごく、内容、つくりがシンプルだなという印象を受けました。文章だけを載せていらっしやっていて、その後の考察とかというところが小さく書いてあるだけで、ほかの教科書というのはそこで導きをさらに深くするようなコンテンツを入れていらっしやるようなのですが、そこはすご

く、それがいいのか悪いのか私には分からないのですが、1つだけすごくシンプルだなという印象を受けました。

あと、その教育出版社なのですが、これは内容ではないのですが、紙質がちょっと悪いなど。何か、手触り感が非常に悪くて、特にカラーページがすごくざらざらする。手にインクがちょっと移ってしまうような、私だけの教科書かもしれないけれども、それがちょっと、手触り感がすごくよくなって、チープ感がすごくあるというふうな印象を受けました。教育出版ですね。

○ **委員長** そう言われると、写真の色もあんまりよくない気がしますね。

○ **委員** そうなんです。そこを触ると、結構、インクがちょっとついてしまうような感じがします。

○ **委員** 光村図書は、目次のところに「深めたいむ」とあるのですけれども、各章に、何で「たいむ」というのが平仮名なのか、不思議でしようがないのですけれども。なぜ「たいむ」というのが平仮名になっているのか、私には。だって、ほかの外国語はみんな片仮名書きがしてあるのに、この「たいむ」だけが平仮名になっていて。

○ **委員** それは恐らく「深めたい」というのと「タイム」を掛けている。

○ **委員** そう。「深めたい」と掛けている。

○ **委員** しゃれのつもりなのではないでしょうか。

○ **委員** そうなんだ。そういうことかな。

○ **委員長** すみません。事務局のほうに。

この構成、要は、目次を見ても、何か順番に書いてあるところとそうでないところがありますね。これは何か狙いがあるのですか。

○ **担当** 各社、もちろん狙いがあるとは思いますが、例えば、光村図書であれば、教材をシーズンに分けているであるとか、または、日本教科書であれば、この内容項目という学習指導要領の項目の配列で教材が分かれているなど、幾つか、各社、工夫をされた配列等を行っております。

○ **委員長** ただ、同じ内容の項目ばかり、やっていくわけではないですよ。だから、結局、組合せは学校の裁量ということですよ。

○ **担当** はい。

○ **委員** 1年生の教科書を見ていたのですけれども、東京書籍、教育出版、学研と、日本教科書で、ちょっとほかもあるかも分からないですけれども、今の自分を、まず、1年生の最初に書いて、1年間で学んでいった後にそこをちょっと見比べるのかなという感じなのですが、そこが学研さんなんかちょっと充実している。東京書籍と学研が、テーマの示し方、ここのページでの示し方がちょっと分かりやすい感じかなという印象を受けました。

東京書籍は、最初に開けると、話合いの手引が入っていたりとかするので、1年生で、ちょっと中学校になったらこんな感じで話合いをしていくんだよというのを学んでから道

徳の教科が進んでいくのかなというふうに思いました。

○ **委員長** これはどうやって使うのですか。東京書籍の後ろに、心情円というものがついています。ピンクと青の丸。これ、要は、切り取って組み合わせて、例えば、どういう場面で使いますか。

○ **担当** 道徳ですので、イエスかノーかで答えられない場面で、どちらの気持ちが多いですか、または、どちらの気持ちですかというところで、この微妙な気持ちを表すときに、この心情円というツールを使って、道徳で授業を展開することがよくあると思います。

○ **委員長** 発言しなくても、自分の気持ちはこっちがこれぐらいというものを表すわけですね。道徳では使うのですか。

○ **担当** はい。活用されていると思います。

○ **委員長** よく用いる手法なのですね。

○ **担当** はい。

○ **委員長** それが、教科書についている。

○ **担当** はい。

○ **委員長** 東京書籍を見たら、裏にインターネットを通じて資料を活用できるとあるのですけれども、これ、2次元コードとか、ウェブサイトにつながるという点では、特徴はあるのでしょうか。

○ **担当** 各社、2次元コードまたはウェブサイトにつながるというところで、調査研究のほうでも報告が上がっておりますが、こちらはバーコード等を読み込んでいただいて、タブレットの中から教材に関する情報等を引き出すことができるということでございます。

○ **委員長** 日本教科書はついていないですかね。

○ **担当** はい。

○ **委員長** ざっと見たところ、そんなのがないのですけれども。

○ **担当** 調査研究委員会の報告の中でも記載がないということです。

○ **委員長** これはない。

ほか、いかがですか。見たところ、子供たちがずっと入りやすいとか、そういうのでもあれば、特徴があれば、ぜひ。

○ **委員** やはり委員がおっしゃった、教員としては、この目次しか出ていないようなものと、結局、目次とこのグループ分けをして自分自身に関することということで、それに関するものが載っていてページが出ているというのが、両方出ているものがやはり東京書籍だとかというのと、何も出ていない、目次だけになっているのだと、やはり授業をするときには我々としてはやりにくいのかなという感じがします。

○ **委員長** よさそうなのは、東京書籍と。

○ **委員** 東京書籍と、教育出版と。

○ **委員長** 教育出版。

- **委員** 学研と。
- **委員長** 学研。
- **委員** 日本文教出版が。
- **委員長** 文教出版。
- **委員** 目次と、それから、もう一つは目次以外に、分野別というか、それで分かっているものがあるのですけれども、それ以外のあかつきだとか、日本教科書、それから、光村のほうには目次だけしか何か見つからなかったのですけれども。それが分かれているほうが使いやすかなと、教員は使いやすいかなと思います。
- **副委員長** 結構後ろにありますね。目次とは別に、後ろにちょっとそういう内容とかは見せていて、子供が読むときにはそこを、あまり意識しないで読むという、そういう意図ももしかしたらあるのかもしれませんが。
- **委員** 後ろにつけているのですね。
- **委員長** 今は、評価を出しますので。もちろん、5、4、3、2、1ではなくて、文章で書くのですけれども、そういうのもまとめやすいという点ではどうですか。
それぞれ学校で工夫しているから、これだけではないとは思いますが、使いやすいようなのがあれば。
オーソドックスだけれども、やはり東京書籍とかですかね。
- **委員** そうですね。
- **委員長** 使いやすいのは。
文教出版の道徳ノートなんかは、それぞれの単元でまとめて書くようになっている。もちろん、それぞれの時間のワークシートなんかも使っていますが。
ほか、いかがですか。何か、どこというわけではなくて、ここはいいよとか、目を引いたということがあれば、挙げていただいても結構です。もちろん比較でも構いません。
- **委員** 学研の最後に、心の四季という、1年たって、自分の心の成長に気づいたら書き留めておこうというのが、ちょっとよさそうかなと思ったり。心の成長につながったきっかけというのが、後々、大人になったときに、自分が感銘を受けた教科書の内容とか、思い出したりとかするのかなという感じで。
- **委員長** 頑張っている自分になんていうのもいいですね。これね。
- **委員** はい。
- **委員長** 友達もそうだけれども、自分でも自分を見直して。
あと、よろしいですか。特にトピックがなければ、次に参りたいと思いますが。
では、道徳はこれで終わりにさせていただきます。ありがとうございます。
理科へ参ります。
では、説明をお願いします。
- **担当** よろしくお願ひいたします。
まずは、東京書籍です。節の初めに、生徒の主体性を高める問いかけ、レッツスタート、

また、節の途中には、対話を広げる対話例、そして、深い学びを支える科学の見方、そして、節の最後には、生徒に活用を促す学びを生かして考えようということを設定する流れを貫いています。また、左ページの下の部分には、学習の流れを示し、今、学習過程の中のどこを見るのかということを生徒に意識させるようになっています。仕様が、A4のワイド判で、実験の際にも扱いやすく軽量化されているということも特徴の一つです。

続いて、教育出版です。教科書の中に、主体的・対話的な学習のモデルとなる生徒の話し合いをヒントにしている部分があります。そこをヒントに学びを進めていくという構成になっています。また、単元の前後で、自分自身の変容を捉えさせる工夫がしてあります。実験・観察の扱いが見開き2ページでまとめられていて、授業で活用しやすい構成になっています。記載の仕方としては、余白が十分にあり、文章、絵、写真の区別がしやすい大きさになっています。また、注意書きが、側注、教科書の横に書かれてあるところから、脚注、下の部分に書くということで変更されていて、目線の動きが縦方向といったレイアウトになっているのも特徴です。

続いて、学校図書です。CAN-DO Listというものを示していて、その中で3つの資質・能力を示し、生徒自身が明確な目標を持って学習に取り組むことができる構成になっています。また、各学年の探究の重点にも配慮し、探究するための資質・能力を身に付けることにも配慮しています。実験の結果分析や考察の仕方について、具体的に示しているページがあります。また、巻末にアイデアボードがあり、学び合いに活用することができます。サイズが大きくなったのですが、重量としては軽くなっていると。その軽くなっている部分はQRコードの教材に置き換えているということです。

続いて、大日本図書です。キャラクターの会話場면을掲載して、生徒に対話的な学びを促す構成になっています。各章の初めに、思い出そうというところが示されており、既習事項との関連づけを意識させることができます。実験場面では、注意マークがあり、安全面での注意喚起をしたり、基本操作という欄で、基礎的・基本的な知識、議論の定着を図ったりすることができます。形は、唯一のB5判ということになっております。

最後に、啓林館です。啓林館は、探究実習や探究実験の過程で、ここも生徒の対話例が示されていて、探究的な活動をするという構成になっています。また、コラムとしてのお仕事ラボ、お料理ラボなどで、学習と生活との関わりなどを取り上げ、日常生活や他教科との理科との関連を図った指導ができるよう配慮されています。形がワイド判で、図や写真が大きく掲載されていて、その分、細部まで見やすくなっています。紙面も明るく、カラフルな印象を受けます。3年生のコラムの欄に、バイオ3Dプリンターの話題が載っています。区内にラボがあり、生徒の関心につなげることができます。ここについて調べたのですけれども、本郷に実験ラボがあり、文京区とゆかりがあるといったところになっております。

全社共通で、デジタル教科書、それから、SDGsの扱い、ユニバーサルデザインフォントを使っております。

また、QRコードも全社対応しております。ただ、啓林館は、QRコード掲載とともに、教科書の中にICTマークというものを設けております。そこは、2次元コードではないのですけれども、そのマークがあるところは、ICTを有効に活用できますよと、生徒に活用を促す、そういったマークになっています。

区民意見からは、東京書籍の中で、ノーベル賞の授賞者顔写真一覧がないということが上がっております。その他の会社では、学年は違うのですけれども、それから、扱いの大きさも違うのですが、それぞれ扱いがございました。東京書籍については、確認することができておりません。

また、同じく、東京書籍です。ページをめくって後半に行くと、ぱたんと本が閉じてしまうというか、倒れてしまうと。そういったことが使いにくいのではないかと上がっています。

同じく、東京書籍の中で、新学習指導要領でボルタ電池ではなくダニエル電池の仕組みをという記載がございました。確かに、学習指導要領では、実用的な電池の例としてダニエル電池を取り上げ、例えば、その製作を行うと明記されております。ただ、東京書籍にもダニエル電池の扱いは3年生の58ページでありますので、それぞれの会社でダニエル電池を取り扱っているということを確認しております。

同じく、東京書籍。写真はきれいだが、教科書のサイズが大き過ぎるのではないかと意見が上がっています。

同じく、区民意見から、啓林館です。写真に迫力があり、興味を引かれる。探究シートがついており、よいと感じた。

最後、学校図書です。ラストページ、ホワイトボードにできるアイデアが秀逸でしたという意見が教科書センターから上がっております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○ **委員長** 先ほど3Dプリンターはどこと言っていましたっけ。啓林館。

○ **担当** 啓林館です。

○ **委員長** 実験ラボというのは、東大の中にあって、中学校の理科の先生は全部見に行っています。あと、ちっちゃい3Dプリンターは学校へ持ってきてくれて、話をしてくれます。

○ **担当** 3年生の281ページ、啓林館です。

○ **委員長** サイズでございますが、東京書籍がA4変形って、これ、縦はA4、横はB5。要は、地図や何かと一緒にだから、かばんに入れたときはこれだけ出っ張るというわけではないわけですね。ほかの英語の教科書でしたっけ、大きいのがありましたけれども。

○ **担当** あります。

○ **委員長** あれと同じですね。

大日本が丸々B5、ほかの3社が、幅がA判で縦がB判ということですね。

○ **担当** はい。

○ **委員長** こういうことですね。

どっちが使いやすいですかね。この東京書籍の縦長は、開くと。手には、持った分にはいいのですかね。これ、感じとしてはね。縦長ですから。横に広いよりはめくりやすい気はしますね。

どうぞ、お気づきになったところから、いかがでしょうか。先ほど区民意見では啓林館が鮮やかなって話がありましたけれども。

○ **委員** 実験のときとかにも、横に教科書を置いて授業をされますか。

○ **委員** 技術なんかは、作業するときは全部机にしまって作業させますけれども。

○ **委員** しまってしまう。

○ **委員** 細かいところは自分の実技で見せるというところがあるので。

○ **委員** 実験のときに置いておくのに大きいと邪魔だとかはどうなのかなと。

○ **委員長** やっているのを見ると、ワークシートを出したり、電子黒板で手順を説明したりしていますので。

○ **委員** では、あまり大きさはこだわらなくても。

○ **委員長** 実験の際に、これを持ってというイメージはあまりないですね。

○ **委員** 何かまとめとか、そういうときになると、やはりこの教科書が必要になると思うのですけれども。

○ **委員** そうですね。

やはり安全面というのを考えると、実験のやっている部分なんかをよく見たのですけれども、やはり危ないときにはストップと何か書いてあるのが、学校図書なんかはこのストップというのが、技術もそうなのですけれども、安全面で、実験なんかは特に理科も危険な部分があると思うので、子供たちに何が安全で何が危険だかというところが分かりやすいのが、この。

○ **委員** ストップ、すごく分かりやすいですね。

○ **委員** ストップと書いてあるほうが、1年生にとっては分かりやすいのかなと思ったのですけれども。あとは、注意だとか、注意マークが赤で書いてあったりとかしているの。

○ **委員長** どこがよさそうですか。実験とか、そういうところだと。

○ **委員** 学校図書が、技術では、危ないところだと、こうストップとかと書いてある、こういうところは気をつけるよと言えるようなところではあるのですが、あとのほかの教科書は、とにかく注意だとか。こういうふうに普通の注意と書いてあれば分かると思うのですけれども。

○ **委員** 目は引きやすいですね。東書のほうが。

○ **委員** 目を引きやすいなと思ったのです。

○ **委員** 全ての教科書で取り上げられている脊椎動物のところを見比べてみたのですが、どの教科書も脊椎動物の中でライオンとシマウマというところを取り上げていらっし

やるのですけれども、そこを見比べてみると、一番、啓林館ですかね。啓林館が、写真の使い方と図の表し方で、脊椎動物の中での哺乳類の肉食と草食の違いといったところを非常に分かりやすく捉えているなという印象を受けました。まず、食べ物の違いであるとか、写真、そして、図を示して、歯の違いですね。視野の違いまで全てを網羅しているのは啓林館でした。

それを一方で捉えると、例えば、東京書籍だと、その取扱って非常に小さいところで、目の形が、肉食は前だけれども、草食は横だよというところしか捉えていなかったりだとか、一部分で捉えていたりだとか、横で図だけで表したりだとかというところもあったりするのですが、そういったところを見比べると、この教科書の使い方、写真の使い方というところが、地理でいうと帝国みたいなイメージをもつような印象を持ちました。

○ **委員長** 分かりやすいお話、ありがとうございます。

理科が一番SDGsなんかは触れるところが多いと思うのですけれども、その辺の比較は、事務局のほうで何かまとめていますか。

○ **担当** 全てに取扱いはきちんと出ています。ただ、種類別のカラフルなものであるものであったり、ただ言葉だけの扱いであったりという違いはあります。

○ **委員長** ざっと見ると、何か、啓林館とかは多そうですね。啓林館、教育出版、大日本ぐらいですかね。東書、学校図書よりは、その3つのほうが多いみたいですね。取り上げているのが。

○ **委員** どの教科書も、確認の問題とか、ちゃんとあって、その解答があるのですけれども、学校図書だけは、学びを日常に生かしたらという項目で、みんな、確認しているのだと思うのですけれども、解答がないから、私みたいに解答がみたいな思った子供は、何か、せっかく問題が出ているのだったら、どういうのが模範的な解答かなと見たい人には、ちょっと回答がないというのが残念です。この学校図書の確認のところ。ほかの教科書は、みんな確認の問題の後に、最後に模範解答が出ているのですけれども、学校図書だけはそれがなくて、もちろんこのホワイトボードみたいな、そういう工夫があるというのはちょっとうれしいのですけれども、何か、その確認の学びを日常に生かしたらというせっかくいいところがあるのに、その模範例というのがないので、ちょっと物足りないというのが学校図書でした。

○ **委員長** このホワイトボードは、またアイデアではいいのですけれども、タブレットがありますので、多分使わないかな、文京区ではという感じですね。

○ **委員** そうですね。

○ **委員長** 東京書籍なののですけれども、例えば、1年生の111ページを見ていただくと、どこでもいいのですけれども、実験のところ、文章が分かりやすいところで切れている。要は、最後まで、文末を表すのではなくて、A、Bの試験管を水で冷やして、中の様子を観察するとか、文章の区切りのいいところでやっているの、実験の手順は、これは分かりやすいのかなと思います。ほかはそうではないから、実験のところだけですね。きっと。

○ **委員** 2年生で元素の周期表というのをやるということで、全部比較してみたのですが、先ほどいいなと言った啓林館だけですね、ここの付録に出ている写真が、物そのものの写真になっているのですよね。それ以外は、全部、それを応用されたものになっている。例えば、水素だったらロケットの燃料というところが、皆さん、各社取り上げられているのですが、多分これ、水素って気体なので、ほとんど目に見えぬ、ビーカーに入っている透明なものということで、ちょっとイメージしづらいなというのは思いました。

その周期表の中で、東京書籍だけ日本が見つけた元素、新しい元素であるニホニウムについて、きちんとページを振って、これについては80ページだよというところを表の中に、10ページ、11ページの中に書かれていて、80ページを見ると、このニホニウムを見つけた科学者の方のお話載っているということで、非常にそこはトピックとしては最新のところを載せて、面白いなというふうに思いました。

○ **委員長** ありがとうございます。

○ **担当** 先ほどの学校図書の学びを日常に生かしたらの模範例のところなのですが、例えば、1年生は、263ページに、まとめて単元末問題解答というふうに示されています。ただ、やはりここの問題のページの中で解答がどこにあるかという記載が見当たらないので、ちょっとやはり探しづらいのかなという印象は受けます。

○ **委員長** 逆に言うと、これしか問題はないのですかね。これでしょう。

○ **担当** そうです。それです。

○ **委員長** 索引の後ろのこれだけですよね。

○ **担当** ここの水色の部分です。

○ **委員長** これしかないということですよ。

○ **担当** 単元末の扱いとしては、そこに載っています。

○ **委員長** 東京書籍の後ろのペーパークラフトは、どうなのですかね。

○ **委員** 私も気になっていたのですけれども。

○ **委員長** だんだん高度になっていくような気がしないでもないですけれども。

○ **委員** 国立科学博物館が監修している。

○ **委員** 何か、地形とか、化石とかで、文京区が出ているのはないですかね。

○ **担当** 今、確認できているのは、小石川植物園という記載が学校図書にあります。

○ **委員長** こうやってぱらぱら見ていると、やはり鮮やかなのは啓林館ですかね。

○ **委員** そんな感じはしますね。

○ **委員長** 何か鮮やかですかね。これが一番。

○ **担当** やはり、今、理科嫌いというようなところも言われている中で、まず、子供たちが目にして開いてというところで、その鮮やかさ、カラフルな印象、ワイド判、細部まで見やすいということは、調査研究委員からも啓林館ということで報告を頂いています。

○ **委員** 今はどこを使っているのでしょうか。

○ **副委員長** 東京書籍。

- **委員** 東京書籍。
- **委員** 啓林館は、何だろう。本文とタイトルの配置とか、そういうのに何か。
- **委員** バランスがいいですね。
- **委員** 見やすく、どこに何が書いてあるのかというのがすごく分かりやすい感じはしますね。同じような単元を比べてみると、すごくその差が分かる。
- **副委員長** コマゴメピペットの使い方をちょっと見たのですけれども。3年生の。ほかのいろいろな使い方も見てみないとはいけません、例えば、東京書籍とか、大日本図書は、やってはいけない例がバツということで、明確に示されていますね。

ところが、例えば、教育出版だと、普通に使い方は書いてあるのですけれども、注意は文字だけという感じで、あと、学校図書はあまり詳しく説明したような箇所が見つからない。説明はあるのですが、それに特化した説明は見つかりません。

啓林館は、シンプルに図があって、あとは、このQRコードで飛ぶともしかしたら使い方が見たいなものが見られるのかもしれないのですけれども、教科書でぱっと見られる情報量としては少ないのかなという感じでした。

- **委員長** いろいろ手に取っていると、この東京書籍のサイズ、ちょっと気に入りましたね。めくりやすい。非常に。持っていて。これは面白いですね。ただ、やはり情報量だとどうなのだろうな。

ほかにいかがですか。

この辺で大丈夫ですか。調査研究委員会に加えて、審議会の意見がということですので。

- **担当** はい。ありがとうございます。
- **委員長** それでは、一通り全教科、御意見を頂いて、大変急ぎ足で恐縮でございましたけれども、無事、全教科の審議を終えることができました。

今後のことでございますけれども、皆さんから頂いた意見をまとめて審議の答申案をつくっていくのですが、何せまだ議事録もまとまっていない状況でございますので、議事録ができてから、事務局のほうで、大変ですけれども、皆さんの特徴的な意見を拾い上げていただいてまとめて答申文としたいと思うのですが、それでよろしいでしょうか。

ということになると、もうこの場で、全教科、これなんか終わったばかりですので、議論できないので、恐縮ですけれども、事務局と私のほうでまとめて案をつくって、皆さんにお送りして見ていただく。それでもうちょっとこのところを強調してほしいとか、ここは意図とはちょっと違うよというところがあったら、事務局のほうにお知らせいただいてということで、よろしいでしょうか。

(首肯する委員あり)

- **委員長** では、そのように進めさせていただきます。

それでは、事務局にお戻しします。

- **担当** ありがとうございます。

審議会において委員の皆様から頂いた意見を基に、事務局で答申文としてまとめさせて

いただきます。

なお、委員の皆様には、答申のまとめ、それから、第2、3、4回の会議録について、連休明けをめどに送付させていただきます。何かございましたら、事務局まで御連絡いただければと思います。

なお、答申及び会議録につきましては、8月25日の教育委員会の採択終了後に開示の対象となります。御了承ください。

委員の皆様には、御多用のところ、審議に御協力いただきまして、ありがとうございました。

本日ももちまして、全4回の審議会を終了させていただきます。

皆様、ありがとうございました。

以上で、終了いたします。お疲れさまでございました。